

2011(平成23)年度事業計画の概要

大学全入時代を迎え、高等教育機関をとりまく競争環境は一層激しさを増している。また、社会構造の変化や価値観の多様化が進む中、高等教育機関が果たすべき役割は高度化している。このような環境の中、学校法人龍谷大学は、「龍谷大学」「龍谷大学短期大学部」が展開する「教育」「研究」「社会貢献」等の活動を通して、社会の要請に応える人材の養成に努めるとともに、学術文化の振興や科学技術の進展に寄与していかなければならない。

龍谷大学及び龍谷大学短期大学部では、1975年から、長期的な計画にもとづき、新たな社会的・時代的要請に対応しつつ大学創造に取り組んできた。現在は、2010年度からスタートした「第5次長期計画」のもと、「進取と共生(ともいき)、世界に響きあう龍谷大学」を新たなスローガンに定め、教育・研究・社会貢献・大学運営・施設整備の5つの観点から、構成員一丸となって改革を推進している。2011年度は、2010年度の取り組みを踏まえ、第5次長期計画の諸事業を推進し、様々な改革成果が創出できるように、その取り組みを一層強化する。

2011年度の主な事業としては、政策学部、大学院政策学研究科を設置するとともに、短期大学部の改組を行い「こども教育学科」を設置するなど、新たな教学展開を開始する。他の学部においても初年時教育の充実やFD活動に積極的に取り組むなど、教育の向上に向けた取り組みをさらに強化する。

2011年度は親鸞聖人750回大遠忌法要が勤修される年であり、本法人の設立母体である浄土真宗本願寺派(西本願寺)において、1年を通じ様々な法要が執り行われる。この親鸞聖人750回大遠忌法要に合わせ、西本願寺の正面に「龍谷ミュージアム」を、2011年4月5日に開館する。龍谷ミュージアムでは、開館及び親鸞聖人750回大遠忌法要記念として、「釈尊と親鸞」をテーマとした展示を1年間にわたり開催する。会期を6期に分け、龍谷大学や西本願寺が所蔵する貴重な文化財を中心に魅力溢れる展示を行い、大遠忌法要の参拝者や観光客などを積極的に誘致すべく、本願寺と連携を図り対応する。またその他、親鸞聖人750回大遠忌法要にかかる記念行事を実施することを予定している。

さらに2011年は、本学の前身である学林を創建された西本願寺第13代門主良如上人の350回忌にあたることから、良如上人のご命日である10月18日に350回忌法要及び記念行事を実施する。加えて、親鸞聖人700回忌記念として開設した深草学舎も本年50周年を迎えることから、学園祭(龍谷祭)が開催される11月上旬に、地域の方々と共に開設50周年を祝す記念事業を実施する。

その他の特徴的な取り組みとして、ハード面においては、深草キャンパス西に位置するテニスコート跡地に、2012年後期からの利用開始を目指し、新棟(地上4階地下2階、延床面積約15,000㎡)の建設工事を開始する。また、年次

計画で取り組んでいる、衛生設備改修工事やキャンパスの省エネ化に向けた各種工事を実施するとともに、教育用メールシステムの更新などの情報化促進施策を推進する。ソフト面においては、厳しい就職環境に対応すべく、各種ガイダンスや就職対策講座の充実を図るなどのきめ細かい就職活動支援の強化、社会情勢に見合った経済支援(奨学金など)の充実、Ryukoku University Berkeley Center(RUBeC)(アメリカ合衆国 カリフォルニア州 パークレー)及びRyukoku University Hawaii Office(アメリカ合衆国 ハワイ州 ホノルル)を拠点とした国際化教育のさらなる充実、医師・カウンセラー・保健スタッフの連携による保健管理業務の充実などを通じて学生支援活動の強化を図る。

これらの事業は、いずれも本法人が370年の歴史の中で培ってきた資源やネットワークを活用したものであり、「龍谷大学」「龍谷大学短期大学部」の設置理念の具現化とブランド力の向上に資するものであると認識し、積極的に推進する。

